

第2回 「循環とは何か」

「ネオサイクル」時代の分解とリサイクル

わたしたちの生活は、使い捨てることを前提に無制限につくられてきたもので溢れています。その中にはプラスチックのように、循環の外部におかれてきた人工物質がある一方、プラスチックすら分解する微生物が確認されていて、かつて自然界に存在しなかった人工物質も、すでに循環のサイクルに入り込んでいます。いわばわたしたちは、人間活動によって生み出されてきた、人為起源の「ネオサイクル」の中に生きていると言えるでしょう。今回は、「ネオサイクル」時代の分解とリサイクルに焦点をあて、二人のゲストの対話から、改めて循環とは何かを探求します。



伊藤先生



岡部先生

2022年12月14日（水） 14:30～16:30

オンライン配信（申込フォーム <https://forms.gle/573mTL1p5uR8jntP6>）



お話と対談：**伊藤耕三** 先生 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

岡部明子 先生 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

コーディネータ：**福永真弓** 先生 東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授

グラフィックレコーディング：**佐久間彩記 / 松本花澄**（グラフィックカタリスト・ビオトープ）

<https://rinri.edu.k.u-tokyo.ac.jp/>





想像 × 科学 × 倫理

Socio-Technological imaginaries × Science × Ethics

想像してみよう。

想像することから科学は始まる。

そして、対話してみよう。

対話による想像の交差から、たくさんの倫理の輪郭がみえてくるだろう。

「ほんとうに～はすべきなのか／すべきでないのか？」

「ほんとうに～はよいのか／わるいのか？」

率直に問いかけ、みえてきた倫理の輪郭に触れてみよう。

倫理の輪郭に触れ、立ちすくんでもひるんでも、問いを繰り返し続けてみよう。

その営みこそ、新しい想像と創造を生み出す源なのだから。

2022 想像 x 科学 x 倫理ワークショップ

第1回ワークショップの様子

「多様性とは何か」2022.10.28

登壇者：河村正二 / 蜂須賀知理 / 福永真弓



河村正二氏



蜂須賀知理氏



福永真弓氏

